

日野市 SDGs 推進事業者登録制度 申請フォーム 作成マニュアル

(1)はじめに

- ・このマニュアルは、日野市 SDGs 推進事業者登録制度の申請に必要な「わが社の SDGs 推進事業計画書」を作成するための手順や注意事項を表したものです。
- ・このマニュアルに記載の手順に沿って、社内でいろいろと検討しながら記入いただくと、わが社の SDGs 経営の全体像ができあがるようになっていきますので、できるだけ担当者一人で記入するのではなく、会社ぐるみで話し合っておこなってください。

(2)申請用紙の特徴

- ・申請用紙は、下図の通り5つのパートから成り立っています。

①

①会社の現状の棚卸しを行い、将来像を考えるパート

②

②わが社が持っている価値について考えるパート

③

③会社の労働と人権やワークライフバランスについて考えるパート

④

④わが社の環境負荷軽減の取り組みについて考えるパート

⑤

⑤地域社会の一員として、地域社会の課題解決について考えるパート

・これらの5項目は、SDGs 経営を推進するためにはいずれも重要な視点ですが、前から順に作成する必要はありません。取組みやすい項目から作成に取り掛かってください。

・ただし、これらの4項目は関連性が高いため、作成していくと、「あれ、先に記入したこれは、ちょっと変えないと整合がとれない…」といったことに気づく場合があります。その場合は、ぜひ立ち止まって先の項目を修正してください。

・じっくりと練り上げて、あなたの会社の SDGs 経営の取り組みを整理しましょう。

(3)各パートの作成方法

①会社の現状の棚卸しを行い、将来像を考えるパート

・このパートは①「会社の事業概要等」、②「わが社と地域とのつながり」、③「わが社が重点的にSDGsの推進に取り組んでいること及び2030年の自画像」、④「わが社の事業のリスク」の4つの項目から成り立っています。

・この項目は、シート全体の総論とも言える部分です。社会課題の解決と経済活動の発展を同時に実現していくというSDGsの理念に沿って、あなたの会社の業務をどのように発展させ、またその中で、どのような社会課題解決に取り組んでいくのかを、大きな視点で考えてみましょう。

A…あなたの会社の商品やサービスなど、事業全体の特徴を簡潔に（ただし、知らない人が見た時にもわかりやすいように）まとめてください。

また、自分達の事業だけではなく、自分達の事業が社会に与えている価値や、事業を行う過程で行っている社会貢献など地域とのつながりについても記載しましょう。

B…いまあなたの会社が重点的に取り組んでいるSDGs活動はどんなことなのか、理想的な姿はこれだと思うものについて、その活動が2030年にはどのようなになっているか（どのような社会的課題解決に貢献しているのか）、現状にとらわれずできるだけ大きな視点から自由に想像して記述し、「そのために3年間で取り組むこと」について考えてください。

「Goal 番号」欄には、重点的に取り組んでいるテーマを、右記のSDGsの17ゴールから選んでください。1つでも複数でも構いません。



C…自分たちの会社を客観的にみて、事業経営でどういったリスクがあり、それを解消した未来像とはどのようなものなのか、それぞれの業種・業態の特徴から考えてみましょう。

②わが社が持っている価値について考えるパート

- ・売上や利益などの財務情報は、あくまでも「過去」の事業活動の成果ですが、働くヒトの技能や、会社・商品のブランド力、顧客や金融機関とのネットワークといった、財務面以外の資産（「知的資産」といいます）は、「未来」に続く資産として、あなたの会社をこれから発展させるものです。
- ・自社の強みや特徴（つまり「知的資産」）を整理し、強化策を考えることで、企業経営の持続可能な発展のための必要な取り組みを整理しましょう。

◆わが社の経営について（特徴的な知的資産の現状と目標）			
SDGsに配慮してより良い未来を創り出すには、売上や利益などの財務面だけではなく、財務面以外の資産（知的資産といえます）の活用による価値創造が不可欠です。わが社の知的資産の現在と未来を次のように計画します。			
	現在	2030年の自画像（目指す将来像）	次回更新までの3年間で取り組むこと
	例を参考に記入	例を参考に記入	例を参考に記入
A B C 人的資産：／社員にひもづく資産 （ノウハウ、技能、経験、経営者の能力など）			
仕組み資産：／会社にひもづく資産 （システム、ブランド力、もうかる仕組み など）			
関係資産：／対外的な関係にひもづく資産 （顧客、顧客・金融機関等）との関係 など）			

A 人的資産…社員（社長を含みます）にひもづく資産を表しており、ノウハウや技能、経験、経営者の能力（会社を運営する能力）など、「ヒト」に関する資産です。「現在」、「目指す将来像」や「そのために3年間で取り組むこと」について、下記の例を参考に記入してください。

現在の例	<ul style="list-style-type: none"> 営業力が強い 企画力がある 独自のノウハウを持つ社員がいる 意欲のある社員が多い 経営者の決断・行動・実行力が高い
2030年の自画像（目指す将来像）の例	<ul style="list-style-type: none"> 他社にはない技能・ノウハウを持っている 豊富な経験が評価されている 経営感覚が優れていて独自の戦略を展開している 技術力（デザイン力、その他）が高い社員が多い 業務スピードが速い社員が多い 色々な人々のつながり、連携をもっている
次回更新までの3年間で取り組むことの例	<ul style="list-style-type: none"> 社内での教育研修の充実 社外の教育研修機会の活用 優秀な社員の確保 勉強のための外部への出向や他社見学の徹底 モチベーションアップのための社内制度の導入

B 仕組み資産…営業活動や顧客情報を管理するシステムや、企業・商品・サービスのブランド、その他の儲けを生み出す特徴的な仕組みなど、A の「ヒト」とは異なる「会社」のビジネスの仕組みに関する資産です。

「現在」、「目指す将来像」や「そのために 3 年間で取り組むこと」について、下記の例を参考に記入してください。

現在の例	<ul style="list-style-type: none"> 製造に独自のノウハウがある 商品にブランド力がある 商品開発力に優れている 充実した製造設備を保有している
2030年の自画像 (目指す将来像) の例	<ul style="list-style-type: none"> 他社にはない独自のビジネス・システムを採用している 商品やサービス、会社の知名度が高い 特定分野の顧客層への浸透率が高い 他社にはない独自の営業スタイルを確立している 価格競争で他社を上回っている
次回更新までの 3年間で取り組む ことの例	<ul style="list-style-type: none"> マーケティング戦略の立案 効果的な情報ツールの導入 販促やプロモーションの強化 他社事例の徹底研究 生産方法の見直しや原価率改善の取り組み

C 関係資産…ヒトでもなく、ビジネスの仕組みでもなく、会社の対外的な関係のことを表しており、顧客や取引先、金融機関等とのネットワークなどが関係資産にあたります。

「現在」、「目指す将来像」や「そのために 3 年間で取り組むこと」について、下記の例を参考に記入してください。

現在の例	<ul style="list-style-type: none"> 顧客基盤が幅広い(約900顧客) 全国的に顧客がいる 異業種との交流がある 多方面の専門家とのネットワークがある
2030年の自画像 (目指す将来像) の例	<ul style="list-style-type: none"> 商品やサービスの熱心なリピーターが多い 会員制度を採用しており多くの会員顧客を集めている 営業活動よりもクチコミが中心で新規顧客を獲得している 原材料など独自の仕入れルートを持っている 取引金融機関と良好な関係が構築できている
次回更新までの 3年間で取り組む ことの例	<ul style="list-style-type: none"> お客様のニーズ調査の実施 会員制度やポイント制などの導入 SNSの活用や紹介制度の導入 訪問活動などによる取引先との関係強化 訪問活動などによる金融機関との関係強化

③会社の労働と人権やワークライフバランスについて考えるパート

①「わが社のヒューマンリソース(人的資源)に関する視点」の作成方法

- ・会社の持続可能性(サステナビリティ)を高めるには、自社の特性に合った優れた人材を確保し、その人材が常に能力を発揮できるような環境を提供することが不可欠です。
- ・下表の「SDGs達成の視点」にあるア～ウの中から、少なくとも2つ以上を選び、「現在」とあなたの会社にとって必要だと思う「目指す将来像」と「3年間で取り組むこと」を、下記の例を参考に記入してください。

SDGs達成の視点		現在	2030年の自画像(目指す将来像)	次回更新までの3年間で取り組むこと
		例を参考に記入	例を参考に記入	例を参考に記入
①わが社のヒューマンリソース(人的資源)に関する視点 <small>※ア～ウの少なくとも2つ以上記載すること</small>	ア)適切な労働条件の確保		ア イ ウ	
	イ)誰もが働き続けられる労働環境の提供			
	ウ)能力向上の機会や適切なキャリアマネジメント			
②わが社の人権意識に関する視点 <small>※エ～オの少なくとも1つ以上記載すること</small>	エ)多様性の確保 (ダイバーシティ&インクルージョン)			
	オ)差別やハラスメントの防止			

ア) 適切な労働条件の確保

現在の例	時間外勤務の正確な申告を徹底している 半日年次休暇の取得を認めている 就業規則は社内ネットで社員がいつでも参照できるようになっている 毎週水曜日は定時退社を推奨している
2030年の自画像(目指す将来像)の例	雇用契約書はパートアルバイト含め全社員に提供している 労働時間は適切で、残業や時間外労働は、ほぼない (始業前の清掃や終業後の湯飲み洗い等)見えないサービス残業はない 就業規則や職場ルールが明確で全員で共有できている
次回更新までの3年間で取り組むことの例	雇用契約書交付の徹底 残業や時間外労働についての社内協議 社内アンケートによる実態調査(いわゆるモラルサーベイ) 就業規則や社内ルールの明確化

イ) 誰もが働き続けられる労働環境の提供

現在の例	<p>在宅勤務制度を導入している</p> <p>60歳定年後の65歳までの再雇用嘱託制度を導入している</p> <p>育児休暇制度の2回までの分割取得を認めている</p> <p>小学生までの子を養育する社員に年5日の看護休暇を認めている</p>
2030年の自画像 (目指す将来像) の例	<p>育児休暇は男女ともに全員取得している</p> <p>本人や配偶者の妊娠や出産、介護などに関わらず希望すれば働ける制度 (短時間勤務や希望配置転換制度など)を導入している</p> <p>高齢者が少なくとも70歳までは希望すれば働ける制度を導入している</p>
次回更新までの 3年間で取り組む ことの例	<p>産休や育休取得者がいても仕事が続けられる仕組みについての 社内での話し合いの徹底</p> <p>育児休暇や介護休暇などの取得奨励</p> <p>短時間勤務制度、希望配置転換制度、継続雇用制度などの導入</p>

ウ) 能力向上の機会や適切なキャリアマネジメント

現在の例	<p>計画的に OJT による社員の能力向上を図っている</p> <p>新入社員にはメンターをつけて相談できるようにしている</p> <p>年1回社員と個人面談を行いキャリアに関する希望を聞いている</p> <p>会社負担で業務に必要な外部セミナーへ参加させている</p>
2030年の自画像 (目指す将来像) の例	<p>仕事に必要な知識や技術などを習得できる研修や社内勉強会などが 充実している</p> <p>何をすれば評価されるのかといった、従業員の評価の仕組みが明確に なっている</p> <p>(仕事を通じてどのような知識や技術が身につく、それを活かしてどの ようなキャリアをわが社において形成していくのかといった)当社に おけるキャリアプランが明確になっている</p>
次回更新までの 3年間で取り組む ことの例	<p>社内講師による研修や社内勉強会などの充実</p> <p>市や都、その他公的機関を活用した勉強会などの仕組みの導入</p> <p>評価制度やキャリアプランの導入</p> <p>評価制度やキャリアプラン導入に向けた専門家相談の活用</p>

②「わが社の人権意識に関する視点」の作成方法

- ・SDGs に配慮した経営を実践するには、最近わが国でも重視されるようになってきた「人権意識」という点からも考えておくことが望めます。
- ・下表の「SDGs達成の視点」にあるエ～オの中から、少なくとも1つ以上を選び、「現在」とあなたの会社にとって必要だと思う「目指す将来像」と「3年間で取り組むこと」を、下記の例を参考に記入してください。

◆わが社の労働・人権・ワークライフバランスの現状と目標				
SDGsに配慮してより良い未来を創り出すには、全ての働くヒトの人権と安全衛生における権利を守ることが不可欠です。ヒューマンリソース(人的資源)と人権意識という2つの視点から、わが社の現在と未来を次のように宣言します。				
SDGs 達成の視点		現在	2030年の自画像(目指す将来像)	次回更新までの3年間で取り組むこと
		例を参考に記入	例を参考に記入	例を参考に記入
①わが社のヒューマンリソース(人的資源)に関する視点 【※ア～ウの少なくとも2つ以上記載すること】	ア)適切な労働条件の確保	・	・	・
	イ)誰もが働き続けられる労働環境の提供	・	・	・
	ウ)能力向上の機会や適切なキャリアマネジメント	・	・	・
②わが社の人権意識に関する視点 【※エ～オの少なくとも1つ以上記載すること】	エ)多様性の確保(ダイバーシティ&インクルージョン)	・	・ エ	・
	オ)差別やハラスメントの防止	・	・ オ	・

エ) 多様性の確保

現在の例	<p>女性の管理職登用のため女性社員の能力開発に努めている</p> <p>60歳定年後の65歳までの再雇用制度がある</p> <p>中国からの留学生を採用している</p> <p>障がい者を雇用している</p>
2030年の自画像(目指す将来像)の例	<p>従業員を性別で見ると、概ね男女同数となっている</p> <p>従業員を年齢で見ると、概ねバランスがよい</p> <p>女性の管理職割合は、国の目標の30%を超えている</p> <p>外国籍の従業員が活躍している／社内にはいない</p>
次回更新までの3年間で取り組むことの例	<p>性別や年齢の多様化を考えた採用</p> <p>女性が活躍できるための環境の整備</p> <p>若年者が活躍できるための環境の整備</p> <p>高齢者が活躍できるための環境の整備</p>

オ) 差別やハラスメントの防止

現在の例	差別やハラスメントについての研修を実施している 社内に相談窓口を設定している 年1回、社員に差別やハラスメントがないかアンケートを実施している 差別やハラスメントの行為者に対して厳正に対処する方針を示している
2030年の自画像 (目指す将来像) の例	差別やハラスメントを禁止する社内規定がある 差別やハラスメントを通報する窓口を設定している 男性と女性で、処遇に格差を全くつけていない 同一労働同一賃金が徹底している 産休や育休の取得が待遇や昇進に全く影響しない 上司からの、常識を超えた叱責や度を越えた要求などはない
次回更新までの 3年間で取り組む ことの例	差別やハラスメントについての研修や社内勉強会の実施 同一労働同一賃金に向けた制度の改訂 公平な評価制度となっているかの見直しと明確化 社内の相談窓口の設定や社員アンケートの実施 パワハラ研修等の実施

④わが社の環境負荷軽減の取り組みについて考えるパート

①「気候変動が将来わが社にどのような影響をもたらすのかという視点」の作成方法

- ・会社の持続可能性(サステナビリティ)を考える上で、これから起こりうる気候変動を予測し、先回りした対応を行うことは、地球温暖化の影響が感じられる中で重要な視点となっています。
- ・アとイについて、特にあなたの会社にとって、気候変動が与えるリスクを、下記の例を参考に記載してください。

◆わが社の環境負荷軽減への取り組みの現状と目標			
どの企業も、オフィスで電気を使用するなど、ある程度の環境負荷があります。また、通勤や配送など、気づかないうちに温室効果ガスを排出しています。SDGs に配慮したより良い未来を創り出すために、わが社の現在と未来を次のように計画します。			
①気候変動が将来どのような影響をもたらすのかという視点			
気候変動の主なリスク	具体的にどのような影響が考えられるかを想定できる範囲で説明	気候変動の主なリスク	具体的にどのような影響が考えられるかを想定できる範囲で説明
売上や経費、利益などの財務面に対するリスク	ア	仕入や販売、社員確保などの営業面に対するリスク	イ
②気候変動に対応し、かつ、気候変動がもたらす影響に先回りすることで、リスクを機会に変える視点			
SDGs 達成の視点	現在	2030年の自画像(目指す将来像)	次回更新までの3年間で取り組むこと
	例を参考に記入	例を参考に記入	例を参考に記入
資源の効率化や利用エネルギーのシフトについて			
サービスや事業内容、取扱製品のシフトについて			

ア) 売上や経費、利益などの財務面に関するリスク

(例)
 電気・ガス・水道料金の上昇
 原材料コストの上昇
 移動・輸送コストの上昇
 低炭素技術等の導入によるコストアップ
 異常気象の増加による営業日数の減少に伴う売上減少

イ) 仕入や販売、社員確保などの営業面に関するリスク

(例)
 原材料の見直しの必要性の上昇
 配送ルート変更の必要性の上昇
 夏季の屋外作業員不足
 環境対応を重視する顧客の増加

②「気候変動が将来わが社にどのような影響をもたらすのかという視点」の作成方法

- ・会社の持続可能性(サステナビリティ)を考える上で、これから起こりうる気候変動を予測し、先回りした対応を行うことは、地球温暖化の影響が感じられる中で重要な視点となっています。
- ・ウとエについて、特にあなたの会社にとって、気候変動が与えるリスクと機会を、下記の選択肢から選び詳細な説明を記載してください。

◆わが社の環境負荷軽減への取り組みの現状と目標			
どの企業も、オフィスで電気を使用するなど、ある程度の環境負荷があります。また、通勤や配送など、気づかないうちに温室効果ガスを排出しています。SDGsに配慮したより良い未来を創り出すために、わが社の現在と未来を次のように計画します。			
①気候変動が将来どのような影響をもたらすのかという視点			
気候変動の主なリスク	具体的にどのような影響が考えられるかを想定できる範囲で説明	気候変動の主なリスク	具体的にどのような影響が考えられるかを想定できる範囲で説明
売上や経費、利益などの財務面に対するリスク		仕入や販売、社員確保などの営業面に対するリスク	
②気候変動に対応し、かつ、気候変動がもたらす影響に先回りすることで、リスクを機会に変える視点			
SDGs 達成の視点	現在	2030年の自画像(目指す将来像)	次回更新までの3年間で取り組むこと
	例を参考に記入	例を参考に記入	例を参考に記入
資源の効率化や利用エネルギーのシフトについて		ウ	
サービスや事業内容、取扱製品のシフトについて		エ	

ウ) 資源の効率化や利用エネルギーのシフトについて

現在の例	<p>本社の屋上に太陽光発電パネルを設置している</p> <p>本社の照明を全部 LED 化している</p> <p>営業車両10台のうち5台をハイブリッド車にしている</p>
2030年の自画像 (目指す将来像) の例	<p>製造方法や工程等の見直しで、エネルギー使用量が削減できている</p> <p>資源利用や原材料の見直しで、原価をうまく抑えられている</p> <p>省エネ体質への転換が進み、エネルギーコストが抑えられている</p> <p>再生可能エネルギーの導入で、エネルギー使用量が削減できている</p>
次回更新までの 3年間で取り組む ことの例	<p>新しい技術やツールの導入に向けた情報収集を行う</p> <p>製造方法や工程、原材料などの変更を検討する</p> <p>雨水利用や再生品への切り替えなど資源の変更を検討する</p> <p>配送方法や通勤スタイルを見直す</p> <p>ゼロエネルギービルへの移転など再エネの活用を検討する</p>

エ) サービスや事業内容、取扱製品のシフトについて

現在の例	出来るだけプラスチックの包装はしないようにしている 原材料は出来るだけオーガニックのものを使用している 従来の製品比消費電力を30%削減する製品を開発した
2030年の自画像 (目指す将来像) の例	環境に配慮した仕様設計や業務工程がウリになっている オーガニックやフェアトレード、環境認証商品が特徴になっている 環境認証を受けた原材料調達自社ブランドになっている 簡易包装や紙を使わない名刺など環境負荷に配慮した事業スタイルが特徴になっている
次回更新までの 3年間で取り組む ことの例	新しい技術やツール、製品・商品などの導入に向けた情報収集を行う 同業他社や異業種の先行事例勉強会に参加する 事業スタイルをできるところから見直す

⑤地域社会の一員として、地域社会の課題解決について考えるパート

- 最後のパートは、SDGsに配慮した取り組みを行う地域社会の一員として、地域の課題解決にどのように関わり、どのように貢献していくかを考えるパートです。
- さまざまな地域課題が想定できますが、SDGsへの貢献という視点から、下記の選択肢の中から特に重点的に取り組みたいことを選ぶとともに、自分達の強みを生かした対応策や将来像、取り組む内容などを自由に記載してください。

◆地域社会の課題解決に対する今後の取組目標		
SDGsに配慮したより良い未来を創り出すために、わが社が地域とどう関わり、地域にどう貢献するかについて、次のように計画します。		
特に重点的に取り組みたい地域課題(別紙から選択)	私たちにできる対応策や実現したい将来像(自由記入)	次回更新までの3年間で取り組むこと(自由記入)
A		

A)特に重点的に取り組みたい地域課題について

<p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> 食育やフードバンクへの参加など、飢餓・栄養改善への取り組み 社内や関係先、地域の健康づくり活動への取り組み 新たな事業や産業の創出を目指す取り組み 市内の各種団体や市の活動に積極的に参加する取り組み
